

事業番号	15 05 02	事業改善シート(29年度実施事業分)	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	児童・生徒の学力向上事業費	部局	教育委員会事務局
		課・室	教学指導課
		実施期間	H3 ~
		E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)			
プロジェクト	3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト 8 教育再生プロジェクト		
施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 1 地球温暖化対策と環境・エネルギー政策の推進 7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 1 未来を切り拓く学力の育成		

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○全国学力・学習状況調査の結果では、小学校は算数Aが、中学校は国語B、数学Aが全国平均を下回った。 小学校算数A 全国78 長野県77(-1) 中学校国語B 全国67 長野県66(-1) 中学校数学A 全国62 長野県61(-1) ○高校生の中には、学ぶ目的を持たずに、学習意欲を出せない生徒や義務教育段階の基礎学力が不十分な生徒が存在する。 ○「ものづくり県 長野」を支え、けん引する科学技術人材を育成するため、「科学の長野」のイメージ定着の気運を醸成していく必要がある。</p>	29年度決算額	43,026 千円
		職員数	7.00 人

目指す姿	<p>○小中学校の算数・数学に重点を置き、学力向上を図る。 ○高校生の学習意欲を向上させ、自ら学び学習する生徒を育てる。 ○「ものづくり県 長野」の恵まれた環境を生かし、中高生に対して科学に対する興味喚起・視野拡大・卓越性を伸長するための取組を継続して実施することで、世界で活躍する科学技術人材を育成する。</p> <p>(主な実施内容:学力向上ミーティングや全県を挙げて学力向上の気運を高めるための学力向上フォーラムの開催、高校生の希望進路の実現を図るための進学対策講座の実施、など)</p>
------	---

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況							
		前年度繰越					No	成果指標	27年度	28年度	29年度		
		当初予算	補正予算	合計(A)	職員数(人)	概算人件費(C)					目標値	成果	達成状況
	当初予算	28,663	51,219	51,976	46,727	①	基礎的・基本的な内容の定着度が全国平均よりも高い児童生徒の割合	小62.6% 中55.5%	小64.4% 中54.2%	小65.0% 中60.0%	小64.5% 中56.8%	未達成	
	補正予算					②	「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均よりも高い児童生徒の割合	小55.9% 中49.2%	小57.1% 中52.2%	小60.0% 中56.0%	小54.5% 中52.8%	未達成	
	合計(A)	28,663	51,219	51,976	46,727	③	長野県学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国66.0% 数62.1% 英61.1%	国64.7% 数59.8% 英59.6%	国65.0% 数60.0% 英60.0%	国65.1% 数60.2% 英62.0%	達成	
	一般財源	23,372	23,588	24,195	18,468								
	県債												
	国庫支出金												
	その他	5,291	27,631	27,781	28,259								
	決算額(B)	25,866	43,371	43,026									
	職員数(人)	7.00	7.00	7.00	7.00								
	概算人件費(C)	57,932	55,398	56,714	56,714								
	概算事業費(B(A)+C)	83,798	98,769	99,740	103,441								

成果指標設定理由	①、② 基礎的・基本的な知識・技能や活用する力などの確かな学力の定着度を、全国学力・学習状況実態調査の結果の考察を通して把握するため成果目標に設定した。③ 高校生の中には、学ぶ目的の喪失や学習意欲の欠如、義務教育段階の基礎学力が不十分な生徒が存在するため、本県が独自に実施する長野県学力実態調査を通して基礎学力の定着度を把握する必要があり成果目標に設定した。
----------	---

目標に対する成果の状況	成果指標①、②については、授業において一人ひとりの実態を把握し、それに応じた支援や補充学習を行うなど、指導と評価を一体化した取組が十分にできていなかったり、自分の考えをまとめて文章化する力を十分に伸ばせていなかったりすることなどにより、目標未達成となった。成果目標③については、非常勤講師を活用した「学び直し」の取組等により目標を達成した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	課題	今後の方向性
	全国学力・学習状況調査の結果を見ると、小学校では算数Aが、中学校では国語Bと数学Aの成績が全国平均を下回っている。また、高校生の中には、学ぶ目的を持たずに学習意欲を出せない生徒や、義務教育段階の学力が不十分な生徒が存在する。	全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、小中学校の算数・数学の教育に重点を置き、学力の向上を図っていく。また、「探究的な学び」を実践することにより、すべての児童生徒が意欲を持って主体的学ぶ態度を身に付けられるようにする。	

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1	8-1-2	「未来を拓く学力」の向上事業	児童生徒に確かな学力を定着させるため、全国学力・学習状況実態調査の結果を考察し、基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を身に付けられるよう各学校を支援した。また、次期学習指導要領の実施に向けての事例収集や改訂に対応する計画に関する理論編の執筆を行った。	3.00	6,541	5,643	3,636
2	3-2-7	高等学校学力向上推進事業費	学力の全般的向上のため、「学習合宿」、「信州サイエンスキャンプ」、「信州赤ひげ塾」等、「伸びる力養成講座」を実施した。	2.00	23,361	19,083	16,991
3		未来を担う科学技術人材育成事業	高校生を対象とした「科学オリンピック」や中学生を対象とした「科学の甲子園ジュニア」等の科学大会で、本県中高校生が活躍できるような講座を開催した。	2.00	22,074	18,300	26,100
合計				7.00	51,976	43,026	46,727

事業番号	事業名		児童・生徒の学力向上事業費			部局	教育委員会事務局		課・室	教学指導課				<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検				
細事業No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度				総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)	
							当初(千円)	当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度		主な点検区分結果
3	未来を担う科学技術人材育成事業	JAXAスペースツアー	委託	中学生を対象に、つくば市内にあるJAXAで宇宙飛行士体験やJAXA宇宙飛行士の油井亀美也さんとの交流を実施（委託先：近畿日本ツーリスト(株)長野支店）	県内各地から作文及びプレゼンテーション審査を通過した30名の中学生が参加し、JAXA筑波宇宙センターにおいて、油井亀美也さんとの交流会を実施した。	計画通り ○			1,162	1,162	0	977						
合 計							28,663	51,219	52,402	51,976	0	43,026			8,967			